

盛岡市議会建設常任委員会資料

平成 18 年 2 月 28 日

盛 岡 市 建 設 部

「盛岡市都市計画道路の整備に関するプログラム」見直し（案）

【概 要 版】

盛 岡 市

目 次

1. はじめに	1
2. 都市計画道路整備プログラム見直し方法	2
3. 現在の都市計画道路整備プログラム（平成12年度策定）の進捗状況	
(1) 整備プログラムに位置づけされた路線の進捗状況	3
(2) 街路事業費の推移	4
(3) 整備中路線の残事業費	4
4. 上位計画、既定計画の整理	5
5. 都市計画道路整備プログラム見直しの基本方針	
(1) 都市計画道路整備プログラムの計画期間	6
(2) 基本方針	6
6. 基本方針に基づく整備対象路線の整理	7
7. 街路事業費への可能投資額の検討	11
8. 整備対象路線と可能投資額等の関係	11
9. 都市計画道路整備プログラム	12

1. はじめに

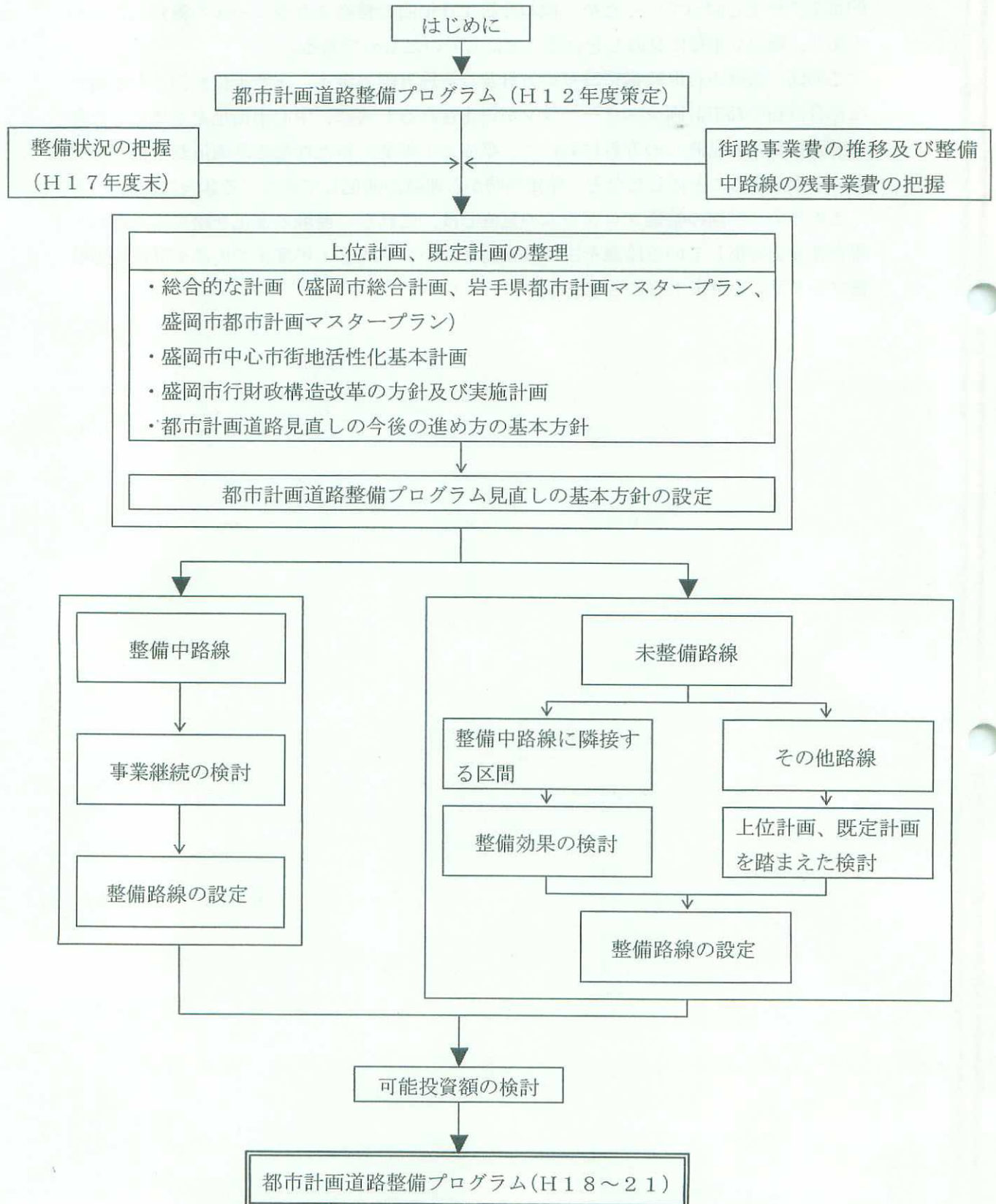
現在の「盛岡市都市計画道路整備プログラム」は、平成12年に近年の厳しい財政事情の中における公共事業の効果的・効率的執行や事業の透明性・客観性の確保が求められていること等から、街路事業への投資規模や整備期間を考慮しながら、計画的・段階的事業の推進を図っていくため、概ね今後10年間の整備スケジュールを策定したものであり、概ね5年毎に見直しを行うことにしていたものである。

この間、盛岡市行財政構造改革の方針及び実施計画の策定、また上位計画となる新たな総合計画や都市計画マスタープランが策定されると共に、中心市街地を主体にした都市計画道路網の見直しの方針において、平成21年度に新たな都市計画道路整備プログラムを策定することにしたなど、策定当時から環境が変化してきている状況にある。

このため、今回の整備プログラムの見直しは、これらの環境の変化を踏まえながら、現在整備を実施している路線を主体に検討を行い、平成21年度までの都市計画道路整備プログラムを策定することとする。

2. 都市計画道路整備プログラム見直し方法

今回の「都市計画道路整備プログラム」の見直しについては、次のフローのとおり行うこととする。



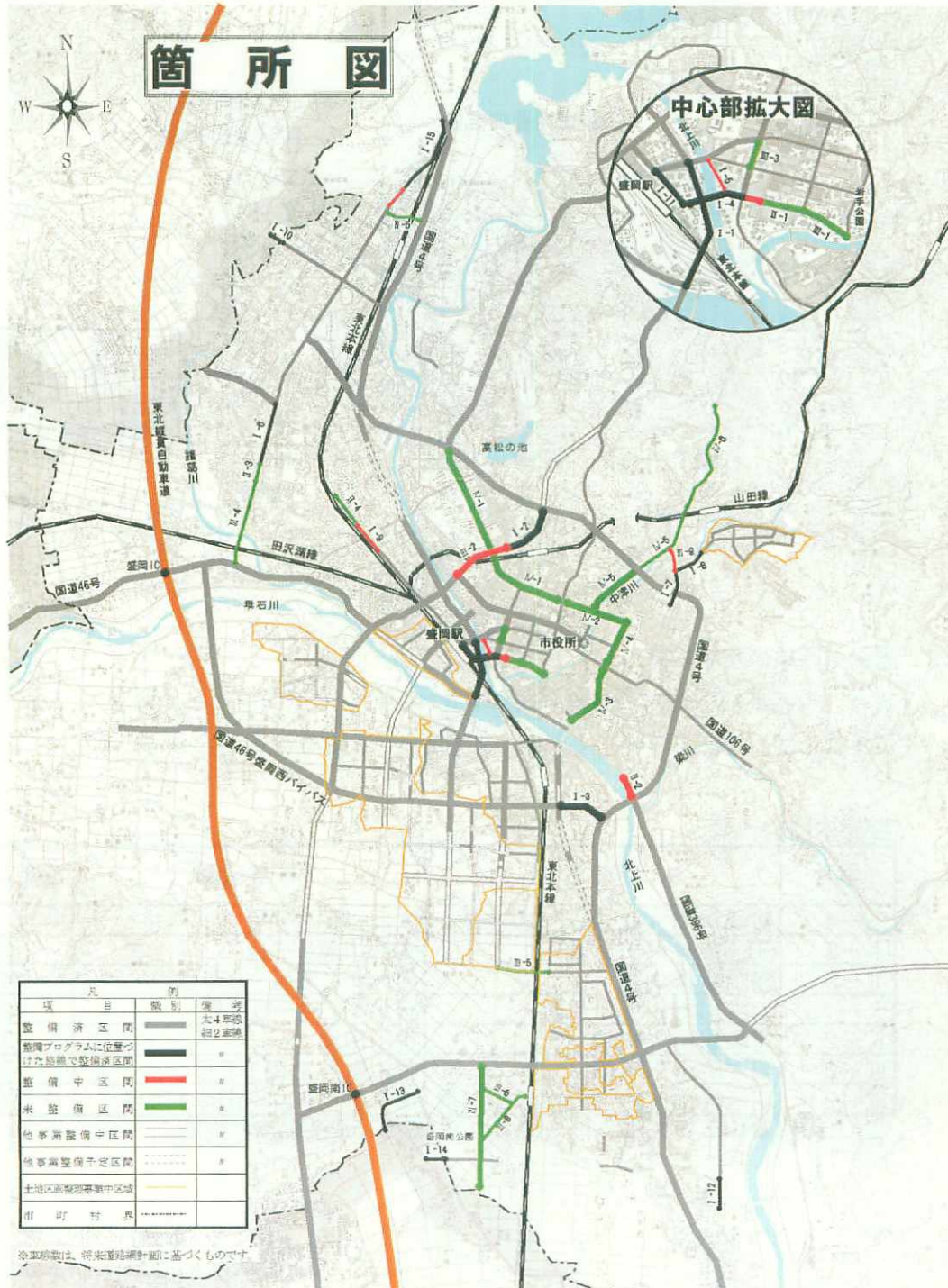
3. 現在の都市計画道路整備プログラム（平成12年度策定）の進捗状況

(1) 整備プログラムに位置づけされた路線の進捗状況

整備プログラムには、全体で35路線、延長約22kmの整備が位置づけられており、その平成17年度末現在の進捗状況は次のとおりである。

	整備済延長	整備中延長	未整備延長
路線数 35路線	13路線	7路線	17路線
総延長 22,045m	6,445m	2,160m	13,440m
進捗率	29.2%	9.8%	61.0%

※35路線のうち2路線については、整備済と整備中の区間が重複している。



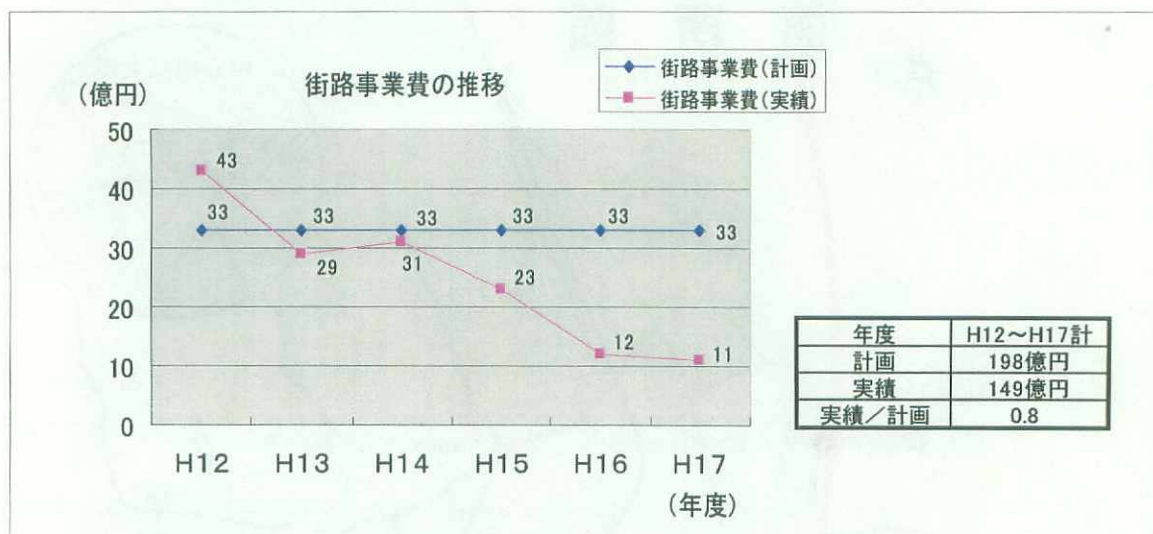
(2) 街路事業費の推移

①計画策定時の投資規模

平成12年の策定時においては、目標年次である平成21年度までの10年間の街路事業への想定投資規模は、第三次盛岡市総合計画後期実施計画（平成12年度～16年度）の街路事業費の2倍と想定して、次のとおり設定した。

年度	H12～H16	H17～H21	合計	年平均投資額
投資額(億円)	165	165	330	33

②年度別街路事業費の推移



(3) 整備中路線の残事業費

現在、街路事業で整備中路線の残事業費は、約9.5億円となっており、このうち、平成18年度から21年度まで必要な事業費は、約3.9億円となっている。

整備中路線一覧

番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)
I-4	盛岡駅南大橋線(不来方橋)	大沢川原3丁目	80	28
I-5	開運橋大沢川原線	大沢川原3丁目	160	16
I-9	盛岡駅青山線	前九年1丁目～2丁目	420	12
I-15	上厨川厨川五丁目線	厨川4丁目～5丁目	220	16
II-2	盛岡駅南大橋線	神子田町	310	28
III-2	梨木町上米内線	梨木町～上田1丁目	700	25
III-9	明治橋山岸線(仮称)新山賀橋	加賀野4丁目～山岸1丁目	270	16

注)上厨川厨川五丁目線(I-15)については、道路事業で実施。

4. 上位計画、既定計画の整理

上位計画、既定計画の整理		
総合的な計画	<p>【まちづくりの方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山並みを守るまちづくり ●歴史と風土を活かした盛岡らしいまちづくり ●賑わいと活力があるまちづくり 	<p>【盛岡市の交通の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都市活動を支えるやさしい交通環境の構築 ●身近で効率的なバス交通 ●中近距離の輸送を担う鉄道 ●効率的な道路の整備
盛岡市中心市街地活性化基本計画	<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歩いて楽しめる街 ●四季が感じられる街 ●歴史を受け継ぐ街 ●賑わいのある商店街が連続する街 ●文化情報を発信する街 ●人が働き都市型産業が発展する街 ●都心居住が楽しめる街 	<p>【交通に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●車を気にしないで安心して歩ける通りや空間づくり ●歩くことそれ自体を楽しめる道づくり ●人が集まったり休んだりできる広場や小緑地づくり ●季節を問わず誰もが安心して歩けるバリアフリーの街づくり ●歩行者、自転車と車が共存する街づくり ●城下町の構造を活かした街づくり
盛岡市行財政構造改革の方針及び実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ●市財政の規模に見合った公共事業を実施するため、平成16年度以降は平成15年度決算見込みから40%程度削減した水準とする。 ●全体計画事業費1億円以上の継続事業については、特に重点的にその必要性を検証し、事業継続について判断する。 ●コスト削減や手続きの透明向上を図るため、平成20年度の運用開始を目標として電子入札を導入する。 	
都市計画道路見直しの今後の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的な交通体系の基本方針及び計画の策定（H17～18） ●将来道路網計画の検証と段階的道路網計画の立案（H18～19） ●中心市街地の地域別まちづくり構想と実現のための計画の立案（H16～20） ●中心市街地を主体とした都市計画道路見直し（H19～） ●新たな都市計画道路整備プログラムの策定（H21） 	

5. 都市計画道路整備プログラム見直しの基本方針

現在の都市計画道路整備プログラムの進捗状況や整備後新たに策定された上位計画、既定計画等を踏まえ、整備プログラム見直しの基本方針を次のとおり設定する。

(1) 都市計画道路整備プログラムの計画期間

整備プログラムの計画期間は、平成21年度に将来道路網の検証や段階的的道路網計画の立案を踏まえ、新たな整備プログラムを策定する予定としていることから、今回見直しする計画期間は平成18年度から平成21年度までの4年間とする。

(2) 基本方針

- ① 見直し対象路線については、現在の進捗率が行財政構造改革の公共事業の削減等もあり整備中路線を含めても延長比で約39%と当初計画より遅れている状況にあり、今後とも街路事業投資額の大幅な増額は見込めなく現在の整備プログラムは達成困難であり見直しせざるを得ないこと、また、今後、将来道路網検証を踏まえ平成21年度に新たな都市計画道路整備プログラムを策定することにしてから、現在の整備プログラムに位置づけた路線を対象とする。
- ② 現在整備中の路線（区間）については、既に事業に着手しており地権者等事業関係者に与える影響が大きいこと、また、事業費1億円以上の大規模事業評価を考慮して、事業を継続することとする。
- ③ 未整備路線については、平成18年度から都市計画道路網の検証を行うことになっていることから、次の方針で整備候補路線を選定する。
 - i. 整備中路線（区間）に隣接する同一路線の区間については、地域全体の交通確保やネットワーク形成上等の整備効果を踏まえ、引き続き整備が必要となる区間は整備候補の対象とする。
 - ii. 都市計画道路見直しの今後の進め方の基本方針において、道路の連続性や地域の幹線道路等将来道路網計画の検証においても変更がないと考えられる路線であると共に、上位計画を踏まえた公共交通や中心市街地活性化に資すると考えられる路線は整備候補の対象とする。
 - iii. 上記 i、ii 以外の路線については、今後都市計画道路網の検証を行うこともあり、整備路線の対象としない。
- ④ 玉山区については、現在、渋民地区土地区画整理事業で4路線、また、道路局事業で渋民鶴飼線の事業を実施している状況にあり、平成21年度までは、引き続き、現在、事業中路線の整備を図ることとする。

6. 基本方針に基づく整備対象路線の整理

平成12年に策定した都市計画道路整備プログラムに位置づけた路線を、前述の基本方針に基づき分類すると、次のとおりである。

i. 現在整備中路線（区間）

盛岡市行財政構造改革の方針及び実施計画における大規模事業評価（全体計画事業費1億円以上）において、現在整備中の路線は、休廃止路線に位置づけられていないことから、基本的に引き続き事業を継続することとする。

なお、大規模事業評価は、毎年度実施されることから、その時点における評価を踏まえ、継続について検討することとする。

番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)	備考
I-1	盛岡駅南大橋線(不來方橋)	大沢川原3丁目	80	28	
I-2	盛岡駅南大橋線	神子田町	310	28	
I-3	開運橋大沢川原線	大沢川原3丁目	160	16	
I-4	盛岡駅青山線	前九年1丁目～2丁目	420	12	
I-5	上厨川厨川五丁目線	厨川4丁目～5丁目	220	16	
I-6	梨木町上米内線	梨木町～上田1丁目	700	25	
I-7	明治橋山岸線(仮称)新山賀橋	加賀野4丁目～山岸1丁目	270	16	
I-8	渋民鶴飼線	玉山区渋民字長渡～渋民字渋民	465	16	玉山区部分
合計	8路線		2,625		

ii. 未整備路線（区間）

①整備中路線（区間）に隣接する区間でネットワーク形成上等引き続き整備が必要となる区間

番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)	整備対象区間とする理由
II-1	盛岡駅南大橋線	大沢川原2丁目	220	28	・盛岡駅南大橋線については、今後検証することとしているが、現在、大沢川原3丁目まで整備を行っており、整備区間の効果を発揮させるためには、最小限映画館通り(市道大沢川原一丁目北山一丁目線)の交差点までの整備が必要と考えられる。
II-2	盛岡駅青山線	前九年2丁目	400	12	・盛岡駅青山線については、青山地区とのアクセスを考慮すると、ふれあいばし(市道前九年三丁目大新町線)までの整備が必要と考えられる。
II-3	上厨川厨川五丁目線	西青山1丁目	210	16	・赤雲工区の残区間であり、当該区間の完成によりネットワークの形成が図られる。
合計	3路線		830		

②道路の連続性や地域の幹線道路等将来道路網計画の検証においても変更がないと考えられる路線であると共に、上位計画を踏まえた公共交通や中心市街地活性化に資すると考えられる路線

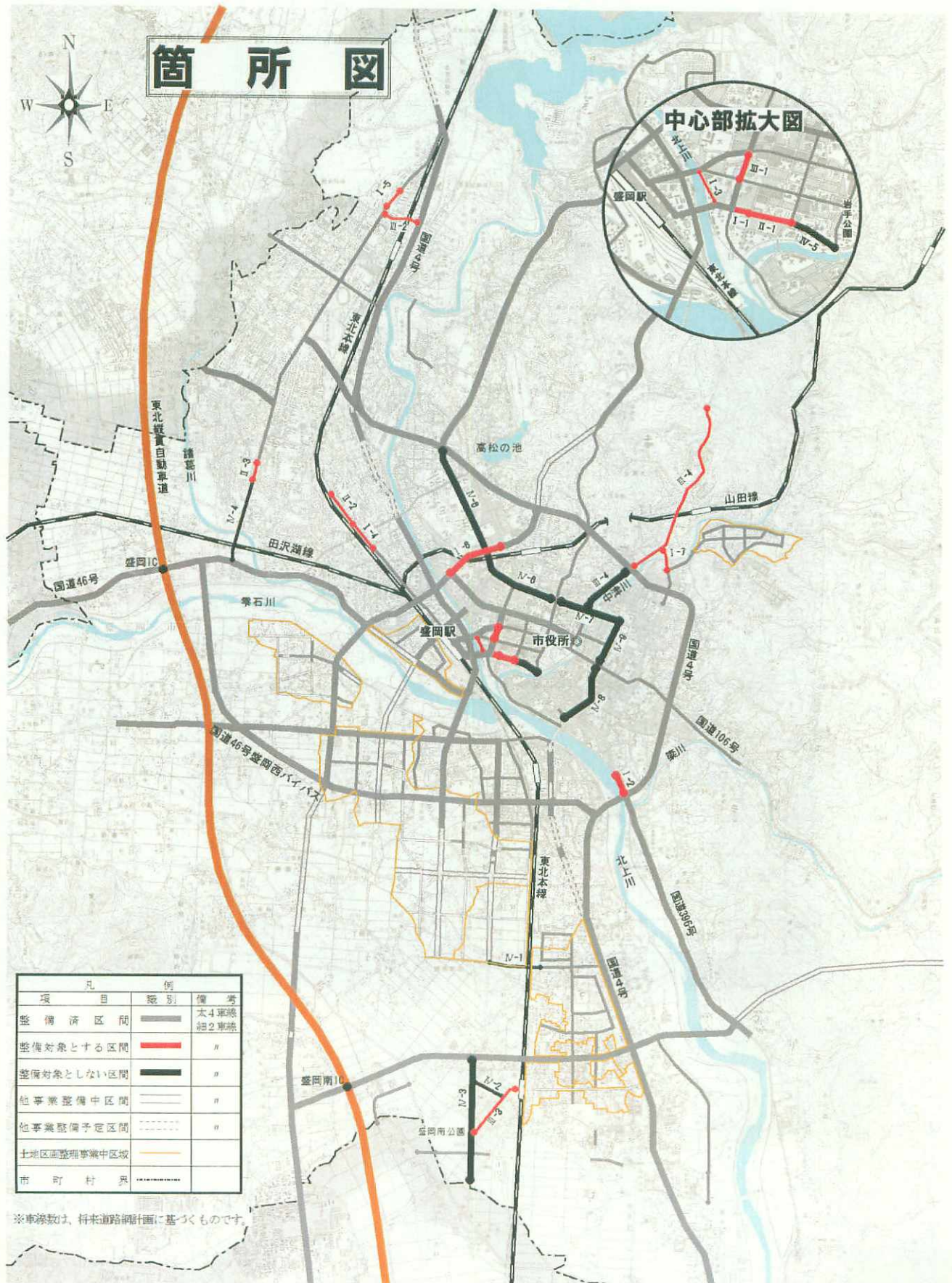
番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)	整備対象区間の検討結果
Ⅲ-1	明治橋大沢川原線	開運橋通～大通3丁目	160	25	・本路線の整備により、不來方橋を含め北上川を挟んだ駅周辺地区の道路網が完成することになり、バス等公共交通優先の様々なシステムの導入が可能になると共に、都心地区へのアクセス向上も図られ沿道の土地利用の有効活用等活性化に資すると考えられることから、整備対象路線とする。
Ⅲ-2	厨川元村線	厨川1丁目～4丁目、みたけ2丁目	460	16	・交通隘路となっている元滝沢踏切や交差点の改良により交通の円滑化が図られ、青山ゾーンバスの円滑な運行によりバス利用の促進が図られると考えられることから整備対象路線とする。
Ⅲ-3	岩手飯岡駅南公園線	永井	730	19	・スポーツイベントが開催される盛岡南公園と岩手飯岡駅を連絡すると共に、駅前広場を整備し、地域の住民も含め公共交通の利用促進が図られると考えられることから整備対象路線とする。
Ⅲ-4	内丸山岸線・庚申窪山岸線	愛宕町～山岸6丁目	2,330	2車線	・当該両路線については、平成18年度内に都市計画変更する予定としていること、また、山岸地区の重要なバス路線として利用されており、バスの円滑な走行や利用促進が図られると考えられることから整備対象路線とする。
合計	4路線		3,680		

③整備の対象としない路線

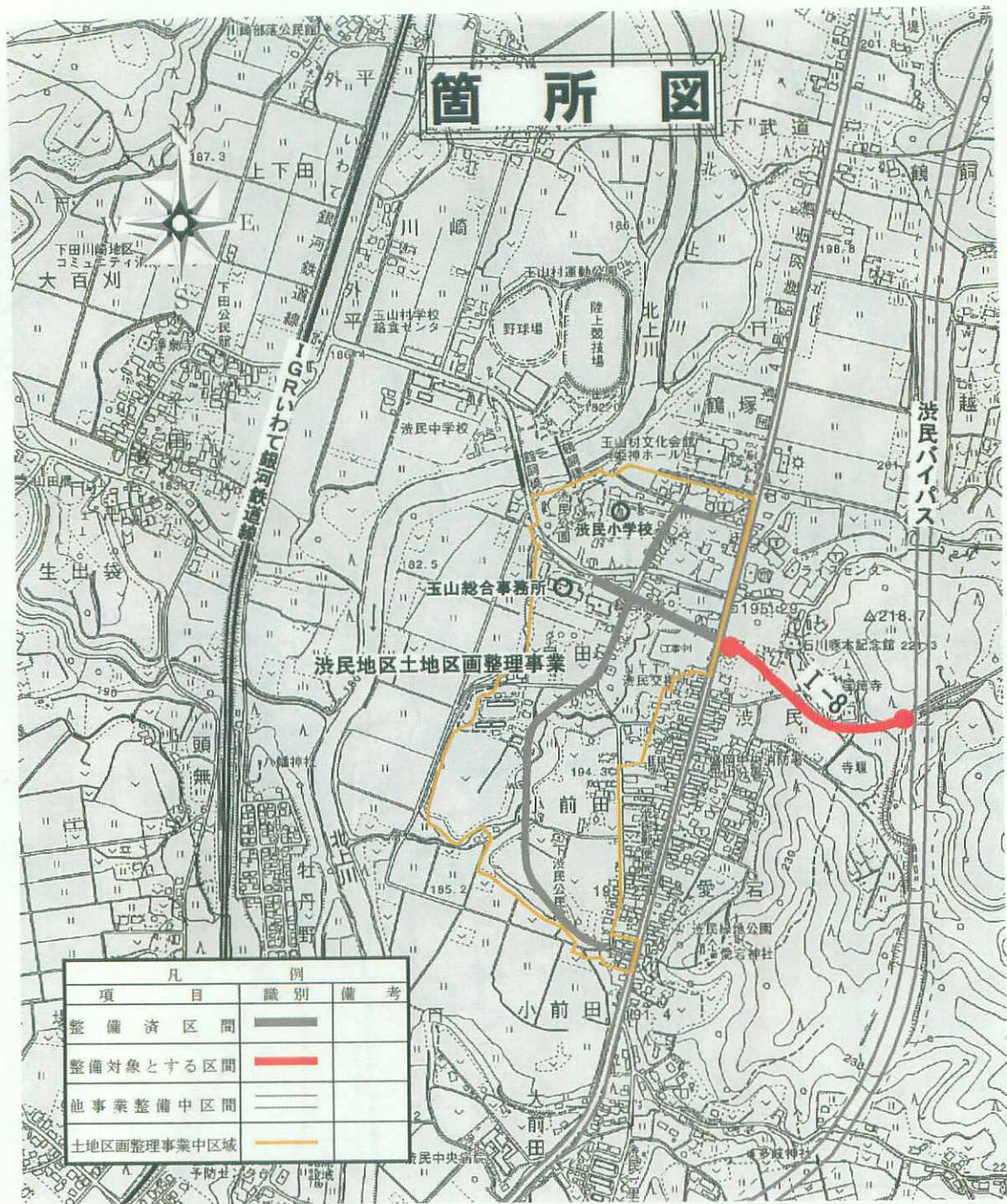
現在の整備プログラムに位置づけされている路線で、今回の見直しで整備の対象としない路線

番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)	整備対象区間の検討結果
Ⅳ-1	津志田下飯岡線	津志田	700	30	・盛南開発区域内の道明地区土地区画整理事業の進捗状況を踏まえ整備時期を検討することとし、今回は整備対象路線としない。
Ⅳ-2	前田四ツ長線	永井	390	17	・市街化区域に隣接する宅地開発に合わせ整備を予定していたが、宅地開発の目的がたっていないことから、今回は整備対象路線としない。
Ⅳ-3	西仙北北川線	永井	1,480	25	・当該路線の代替となる市道稲荷町谷地頭線が整備され、交通の円滑化と定期バス路線が新設されバスサービスの向上が図られたことから、今回は整備対象路線としない。
Ⅳ-4	上厨川厨川五丁目線	長橋町	1,000	16	・当該路線の代替となる市道稲荷町谷地頭線が整備され、交通の円滑化と定期バス路線が新設されバスサービスの向上が図られたことから、今回は整備対象路線としない。
Ⅳ-5	盛岡駅南大橋線	大沢川原1丁目	260	4車線	
Ⅳ-6	本町上田線	上田4丁目～本町通2丁目	2,400	4車線	
Ⅳ-7	本町新庄線	本町通1丁目～若園町	730	4車線	
Ⅳ-8	向中野安倍館線	南大通1丁目～2丁目	670	4車線	
Ⅳ-9	神明前北井崎線	神明町～若園町	590	4車線	
合計	9路線		8,220		・今後、将来道路網の検証を行うこととしていることから、今回は整備対象路線としない。

【整備対象路線図（旧盛岡市）】



【整備対象路線図（玉山区）】



7. 街路事業費への可能投資額の検討

街路事業費への可能投資額については、平成18年度から21年度の4年間において、平成18年度から20年度までの事業費は、現在、総合計画の実施計画ローリングの中で調整段階にあるが、その事業費を用いることとし、平成21年度については、12億円と設定する。

ケース1：平成19年度事業費で固定した場合

単位：百万円

年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
可能投資額	1,135	1,180	1,165	1,200	4,680

以上のとおり、可能投資額は、概ね47億円程度と考えられる。

8. 整備対象路線と可能投資額等の関係

可能投資額概ね47億円に対し、整備対象路線の街路事業費は下表のとおり、約48億円となることから、整備対象路線と可能投資額等の関係は、概ね整合が図られていると考えられる。

なお、可能投資額については、財政事情等により、変化することも考えられることから、整備の優先順位の区分は、①現在整備中路線（区間）、②現在事業中路線に隣接し、ネットワーク形成上等により整備が必要な路線（区間）、③上位計画、既定計画から設定した新規着手路線（区間）の順とする。

整備対象路線の平成18年度から21年度までの事業費

区分	内 訳	路線数	事業費(百万円)	備 考
現在整備中路線(区間)		6	3,905	
新規に着手する路線(区間)	現在事業中路線に隣接し、ネットワーク形成上等により整備が必要な路線	3	835	
	上位計画、既定計画から設定した路線	3	15	
合計		12路線	4,755	

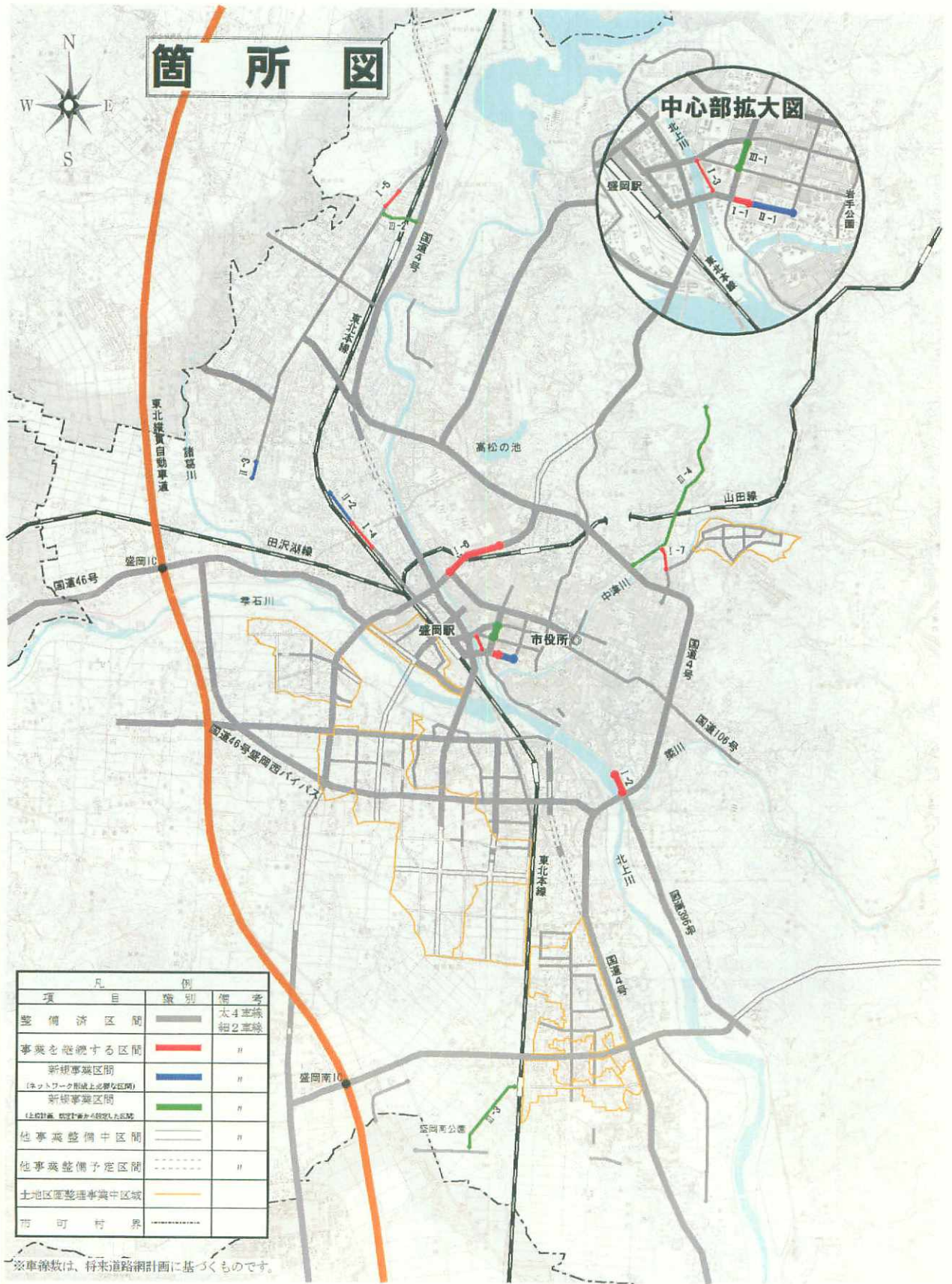
注)整備中路線のうち2路線及び上位計画、既定計画から設定した路線のうち1路線は道路事業で実施するため路線数、事業費には含まれていない。

9. 都市計画道路整備プログラム

以上の検討より、平成21年度を目標とした整備プログラムを、次のとおり設定する。

I. 事業を継続する路線(区間)				
番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)
I-1	盛岡駅南大橋線(不來方橋)	大沢川原3丁目	80	28
I-2	盛岡駅南大橋線	神子田町	310	28
I-3	開運橋大沢川原線	大沢川原3丁目	160	16
I-4	盛岡駅青山線	前九年1丁目~2丁目	420	12
I-5	上厨川厨川五丁目線	厨川4丁目~5丁目	220	16
I-6	梨木町上米内線	梨木町~上田1丁目	700	25
I-7	明治橋山岸線(仮称)新山賀橋	加賀野4丁目~山岸1丁目	270	16
I-8	渋民鶴飼線	玉山区渋民字長渡~渋民字渋民	465	16
計	8路線		2,625	
II. 新規事業路線(区間)(ネットワーク形成上必要な路線(区間))				
番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)
II-1	盛岡駅南大橋線	大沢川原2丁目	220	28
II-2	盛岡駅青山線	前九年2丁目	400	12
II-3	上厨川厨川五丁目線	西青山1丁目	210	16
計	3路線		830	
III. 新規事業路線(区間)(上位計画、既定計画から設定した路線(区間))				
番号	路線名	事業区間	延長(m)	幅員(m)
III-1	明治橋大沢川原線	開運橋通~大通3丁目	160	25
III-2	厨川元村線	厨川1丁目~4丁目、みたけ2丁目	460	16
III-3	岩手飯岡駅南公園線	永井	730	19
III-4	内丸山岸線・庚申窪山岸線	愛宕町~山岸6丁目	2,330	2車線
計	4路線		3,680	
合計	15路線		7,135	

【箇所図 (旧盛岡市)】



【箇所図（玉山区）】

